

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.49 2023年2月17日(金)

「署名提出院内集会」3年ぶり開催

私学助成全国署名280万3232筆(当日追加分含む)

国会議員本人29人・代理46人、計75人が参加

紹介議員応諾209人・実人数197人(当日の応諾も含めて)

平日にもかかわらず全国19都府県から61人が参議院議員会館に参集。参加して下さったみなさん、また最後の最後まで署名の集約に奮闘された全国のみなさん、本当にありがとうございました。参加した国会議員の発言からも、関心の高さがうかがえます。提出する署名を力に、国や県に「専任増」「少人数学級」のための経常費助成拡充を訴え「私学の無償化」に道筋をつけていく、その決意をともに固めあう場となりました。

(3) 【総合】 2023年2月17日(金曜日)

各党の国会議員(右手前側)に実情を訴える保護者たち16日、参院議員会館



【参加者の感想より】

「山口代表の説明のあいだ、国会議員がみんな資料を食い入るように見つめて、うなずいたり驚いたりしていたのが印象的でした。事実を知ってもらうことがやっぱり大事なんですね」

「会場が狭くて立ち見が何重にもなったのは大変でしたが、国会議員と文字どおり「膝をつき合わせて」対面したので、むしろ我々の熱意が伝わったのではないのでしょうか」

「これだけ多くの議員が紹介議員になっているのだから、ぜひ委員会で採択をめざしましょう、という発言が国会議員からありましたが、そのとおりだと思います」

署名の集約漏れ、紹介議員追加など必ず報告をおねがいします。

国庫補助増額ただちに

私学の教職員や保護者でつくる全国私学助成をすすめる会は16日、国会内で、学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める集会を開き、私学助成全国署名280万3232人分を提出しました。

すすめる会の磯元千波、山口直之(全国私学助成委員長)の両共同代表があいさつ。磯元氏は、「子どもの同級生が

高学費で進学をあきらめたり、親子そろって教育ローン、奨学金で借金を背負う現実がある。担任の先生も有期雇用で学校から去っていく」と訴えました。

山口氏は、現行の就学支援制度では私立高校授業料に足りず、生活保護世帯でも5万円負担が求められると指

摘。学校が経費を切り詰め、私学教員の4割が非正規雇用になっているとして、国の私学助成国庫補助を増やすよう求めました。

保護者から、「夫の収入が不安定で、私も3職場をかけたもちで働き、娘を進学させたい。いまはコロナでもっと大変になっている」「(兵庫)などの発言がありました。

日本共産党の宮本岳志衆院議員、吉良よし子、伊藤岳岡参院議員があいさつし、「5年で43兆円もの大軍拡を行うのではなく、未来を担う子どもたちの私学助成予算こそ増やすべきだ」と述べました。

自民、立憲民主、国民民主、れいわ、社民の各党、無所属の国会議員があいさつしました。